

長岡病院心理課主催

# 心理臨床ワークショップ

～ SPIS を用いた精神障害および発達障害のある方の就労支援 ～

第2講（基礎編）



「SPIS」はWeb 日報を活用して職場の対話を活性化させるメンタルケア・マネジメントシステムです。この「SPIS」が提供する支援アプローチには2つの大きな特徴があります。1つ目は、本人の困りごとや課題に着目したチェック項目を本人主体で設定し、その自己評価の記録を蓄積すること。2つ目は、評価記録と併せてオンラインや直接の対面を通じて、本人と関係者間で対話を深めることです。本講座を通じて、就労定着が難しいとされる精神・発達障害者の就労サポートへのアプローチの理解を深めます。

令和 元年 7月 28日(日) 10:00～16:45 (9:45 開場)

会場：長岡病院 カンファレンスルーム

(阪急京都線 西山天王山駅 徒歩3分, JR 京都線 長岡京駅 より シャトルバス)

定員：45名 講師：一般社団法人 SPIS 研究所 ほか

参加費：5,000 円

対象：精神・発達障害者の就労支援に関心のある保健・医療・福祉・教育・司法の専門職、精神・発達障害者を雇用 または 雇用を検討する企業など

【臨床心理士の資格更新ポイント(2P)を取得できます】

本講座の受講には、予め6/22開催の第1講（入門編）を受講されることをお勧めします。

第3講（実践編） 9/8（日）

参加お申込サイト：<https://goo.gl/7EKtQ7>

お問い合わせ：長岡ヘルスケアセンター（長岡病院） 心理課

TEL：(075) 951-9201（代） E-mail: nagaokashinri@gmail.com

# プログラム (プログラムの内容は変更される場合があります)

時間		プログラム
受付開始 (9:45 ~)		
10:00-10:10	開会あいさつ	一般財団法人 長岡記念財団 長岡ヘルスケアセンター 副院長 角谷 慶子
10:10-10:15	事務連絡	長岡ヘルスケアセンター/NPO 法人 全国精神保健職親会
10:15-12:00 (105分) 適宜小休憩あり	Session 1	<p><b>「セルフチェック項目設定」</b></p> <p>SPIS を活用するに当たっては、始めに当事者主体で日報のセルフチェック項目を決めていきますが、支援者はそのナビゲーター役を務めることとなります。</p>
昼食休憩 (60分)		
13:00-14:30 (90分) 適宜小休憩あり	Session 2	<p><b>「ネット SPIS を学ぶ」</b></p> <p>SPIS の運用では、当事者と職場担当者、支援者の三者が日々ネット上で対話を行います。これが当事者の就労継続を支える根幹となります。このセッションでは、そのポイントを学びます。</p>
小休憩 (10分)		
14:40-16:10 (90分) 適宜小休憩あり	Session 3	<p><b>「リアル SPIS を学ぶ」</b></p> <p>ネット上の SPIS で日々行われる発信だけでは当事者を支える十分な対話となりません。それを補完してさらに深めるのが面談で、SPIS はこれらの相乗効果により効果を発揮します。このセッションではその面談でのポイントを学びます。</p>
小休憩 (10分)		
16:20-16:40 (20分)	振り返り、意見交換	<p><b>講座の振り返り、意見交換</b></p> <p>本日のワークショップの感想をグループでシェアします。</p>
16:40-16:45 (5分)	事務連絡 閉会あいさつ	長岡ヘルスケアセンター/NPO 法人 全国精神保健職親会 長岡ヘルスケアセンター 副院長 角谷 慶子

# SPiS

## 精神・発達障害者の 雇用マネジメントサポートシステム

「不調の兆候のキャッチ」「タイミングを捉えた適切な配慮」「支援機関との情報共有・連携」

SPIS は、精神障害・発達障害に特化した就労移行支援事業を展開する JSN が訓練記録用に平成 21 年から使用していたシステムを基に、有限会社奥進システムの協力の下で企業の方にも使いやすいよう改良を加え、平成 23 年に開発された就労定着支援システムです。



本研修会は、公益財団法人 JKA から競輪公益資金の提供を受けた NPO 法人 全国精神保健職親会 の協力により開催されます。



主催：  一般財団法人 長岡記念財団  
NAGAOKA KINEN ZAIDAN  
長岡病院心理課

協力：  vfooster.org  
NPO 法人 全国精神保健職親会